【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第１区分
【発行日】平成20年1月31日(2008.1.31)

【公開番号】特開2007-27065(P2007-27065A)
【公開日】平成19年2月1日(2007.2.1)
【年通号数】公開・登録公報2007-004
【出願番号】特願2005-211829(P2005-211829)
【国際特許分類】
Ｈ０１Ｔ　23/00　　(2006.01)
Ｂ０３Ｃ　 3/38　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０１Ｔ　23/00
Ｂ０３Ｃ　 3/38

【手続補正書】
【提出日】平成19年12月6日(2007.12.6)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
変圧器と、該変圧器からの出力電圧が印加されてイオンを発生するイオン発生部と、前記変圧器が設けられた回路基板と、前記イオン発生部及び前記回路基板を接続する接続部とを備えるイオン発生装置において、
前記接続部を囲む電磁遮蔽部材を備えることを特徴とするイオン発生装置。
【請求項２】
開口が形成され、該開口を囲んで突設された筒状突出部を有する筐体と、該筐体内に収容され、変圧器及び該変圧器が設けられる回路基板と、前記筒状突出部の突出端側に設けられ、前記変圧器からの出力電圧が印加されてイオンを発生するイオン発生部と、前記筒状突出部内を通して前記イオン発生部及び前記回路基板を接続する接続部とを備えるイオン発生装置において、
前記筐体の前記筒状突出部を囲む筐体側電磁遮蔽部材を備えることを特徴とするイオン発生装置。
【請求項３】
前記接続部を囲む電磁遮蔽部材は、筒状の導電体である請求項１又は請求項２に記載のイオン発生装置。
【請求項４】
変圧器と、該変圧器からの出力電圧が印加されてイオンを発生するイオン発生部と、該イオン発生部に対向して配され、前記変圧器が設けられた回路基板と、前記イオン発生部及び前記回路基板を接続する接続部とを備えるイオン発生装置において、
前記イオン発生部及び前記回路基板の間に、前記イオン発生部の前記回路基板と対向する部分を覆うように設けられた電磁遮蔽部材を備えることを特徴とするイオン発生装置。
【請求項５】
前記電磁遮蔽部材は、前記イオン発生部に対向する板状の対向部と、該対向部に交差して設けられた２つの脚部とを有する導電体である請求項４に記載のイオン発生装置。